

第7回 理事・役員会アジェンダー

2025年 1月7日(火) 例会終了後  
ウェスティン都ホテル  
東館4F「コクーン」

議 案

1. 社会奉仕委員会に関する件（審議）  
社会奉仕活動決算報告
2. 姉妹クラブ委員会に関する件（審議）  
新竹 RC 表敬訪問決算報告  
金沢南 RC 姉妹クラブ締結 50 周年記念例会について
3. 親睦委員会に関する件（審議）  
年忘れ家族例会決算報告
4. 京都マラソン委員会に関する件（審議）  
京都マラソン予算案
5. 米山奨学生に関する件（審議）
6. 2月プログラムに関する件（審議）
7. 会費未納会員に関する件（審議）
8. 会員選考委員会に関する件（審議）
9. その他
10. 次回 理事・役員会開催日時決定に関する件

以 上

第6回 議事録		理事・役員会	
日時：2024年12月10(火) 13:40～14:40		場所：ウェスティン都ホテル京都「コクーン」	
議長 渡邊 恭章		議事録作成者 副幹事 山田幸一郎	
出欠			
【理事・役員】			
(出) 渡邊 恭章	(出) 安澤 英治	(出) 岡武 和暁	(出) 坂田 均
(出) 上村 承生	(欠) 川勝 裕之	(欠) 橋本 幸司	(欠) 澤田 敦子
(出) 小森 直之	(出) 井上 正博	(欠) 中塚 浩	
【副幹事、副SAA、副会計】			
(欠) 中村 吉晴	(出) 山田幸一郎	(欠) 村岡 正浩	(欠) 川上 祐司
(出) 福留 幸一	(出) 布施 栄一	(欠) 道端 悠馬	(欠) 竹之内米貴
【講師・オブザーバー・ゲスト】 小坂文夫(会員選考委員長)			
議案			
1. 青少年奉仕委員会に関する件		7. 金沢南RC姉妹クラブ締結50周年に関する件	
2. 京都マラソン奉仕事業に関する件		8. その他	
3. 国際奉仕委員会に関する件		9. 次回次年度理事・役員会開催日時決定に関する件	
4. ホテルへの年末謝礼に関する件			
5. 1月のプログラムに関する件			
6. 家族例会(USJ)開催に関する件			
議案	経過・内容		結論
1	「院内学級」事業計画書・予算書を承認する。		承認
2	2月18日(日)の京都マラソンではフィニッシャータオル配布および計測チップ回収・完走メダル配布を担当する。		承認
3	「ケソン市訪問」事業計画・予算書を承諾する。		承認
4	例年通りとする。		承認
5	承認された。1月7日例会後に第7回理事役員会、1月14日例会後に第2回次年度理事役員会		承認
6	3月9日(日)に実施する。		承認
7	次のように実施する。日時 2025年4月1日(火)、2日(水) 一日目：記念例会(18:00～葵殿にて)二次会(麓座)：登録料 15,000円 二日目：エクスカーション、ゴルフ：会費 5,000円		承認
8	鈴木敏治会員、森田早苗会員の退会を承認する。		承認
	インターアクト地区大会の事業報告書・決算書を承認する。		承認
	小坂会員選考委員長より、被推薦者であった長谷氏、今中氏は入会を辞退する旨の報告があった。		承認
	青山会員について：誓約書が未提出のままである。また、会費未納 3/4期分(9か月分)の請求は続けること。滞納が今後も継続するようであれば、このことで辞めてもらわざるを得ないことになる。		承認
9	1月7日(火)例会後		承認
添付資料 ・第6回定例理事・役員会アジェンダ ・第5回議事録 ・院内学級の事業計画書・予算書 ・京都マラソンに関する資料		・ケソン市訪問の事業計画書・予算書 ・1月のプログラムのお知らせ ・金沢南RC姉妹クラブ締結50周年に関する資料 ・退会届(2通) ・インターアクト地区大会事業報告書・予算書	

事業・決算書 事業名：2024-2025年度 社会奉仕事業 「つづる、つなげる、ロータリーの物語を〜今、新たなページがはじまる〜」

2025年 1 月 7日		2024-2025年度 社会奉仕事業(表題の通り)	
京都東山ロータリークラブ		2024年9月25日(木)～11月12日(火)	
第 7 回 理事役員会御中		琵琶湖疏水(蹴上～三井寺、)山科乗下船場付近、陵ヶ岡小学校	
社会奉仕委員会 御中		会員事務局 39名 小学生・教員54名 合計100名	
作成者:社会奉仕委員会委員長 寄本 猛		除幕式来賓 4名 来賓付き添 3名	
社会奉仕委員会 予算額	1,600,000		
今回事業 予算額	998,142		
今回事業後予定残額	601,858		
(事業収支報告書) (単位:円)			
項目	本年度予算額	本年度決算額	備考
収入の部			
社会奉仕委員会費 (ニコニコ会計より)	1,239,816	998,142	
地区補助金	564,450	564,450	3510ドルx161 (レート7月現在) 振込手数料-660
例会食事代	258,500	258,500	4700x55人=258500
支出の部			
「そすいさんぽ」 整備事業看板	677,600	677,600	そすい案内看板製作及び設置費
除幕式会場設営費	126,126	131,560	除幕式各種備品及び設置費 パイプ椅子・白手袋・胸バラ追加(11脚・1名分追加)
除幕式進行管理費	49,500	49,500	進行台本製作
乗船料	324,000	324,000	陵ヶ岡小学校54名(先生共)
児童行き帰り交通費	13,340	13,570	児童48名、先生6名交通費
学習用資料B5 (両観音折)	379,500	379,500	15000部(京都市内全小学4年生その他配布)
出前授業用疎水マップ	29,700	29,700	拡大版2部(黒板貼り付け用)
例会食事代	363,000	210,000	逢坂山かねよ@6000*35人
予備費	100,000	5,662	白ジャンパー洗濯代
収入合計	2,062,766	1,821,092	
支出合計	2,062,766	1,821,092	

2025年1月7日

京都東山ロータリークラブ  
第6回 理事会御中

作成者:姉妹クラブ委員会委員長 中川 公孝

2024年10月1日実施  
第3回理事会にて予算案承認済

(事業収支報告書)

(単位:円)

項目	予算額	決算額	備考
<収入の部>			
姉妹クラブ委員会費 (本会計より)	100,000	100,800	
収入合計	100,000	100,800	

事業名	『新竹ロータリークラブ表敬訪問』		
実施日	2024年12月3日(火)		
実施場所	新竹国賓大飯店『新竹アンバサダーホテルホテル』		
動員数	会員7名	一般0名	合計 7名
	他RC会員0名	その他0名	
結果報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年、恒例となりました『新竹ロータリークラブ』様の70周年記念式典に参加し友好と親睦を深めました。</li> <li>・今回は、日本国内のロータリーは、5クラブ(当クラブ含む)が参加されました。</li> <li>・71周年記念式典(2025.12.2又は12.8で調整)にも多くの参加者を募りたいと思います。</li> </ul>		

項目	予算額	決算額	備考
<支出の部>			
お祝い金	50,000	50,000	
ニコニコ箱	20,000	20,000	
お土産代	10,000	10,800	
蔡君へのお礼	20,000	20,000	
支出合計	100,000	100,800	
差引過不足金			
過不足金の合計処理			

事業計画書・予算書 事業名:『金沢南RC姉妹クラブ締結50周年』

2025年1月7日

京都東山ロータリークラブ  
2024-25年度 第6回 理事会御中

作成者:姉妹クラブ委員会委員長 中川 公孝

事業計画予算額 1,122,341 円  
 <現時点の残額 163,841 円>

(事業収支予算書)

(単位:円)

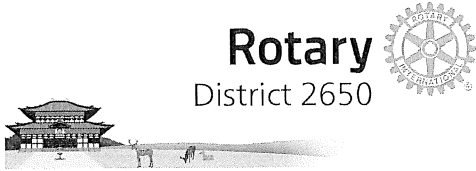
項目	(前年度決算額)	本年度予算額	備考
<収入の部>			
姉妹クラブ委員会費 (本会計より)		163,841	
登録料(東山RC)		400,000	@10,000X40名分
登録料(金沢南RC)		300,000	@15,000X20名分
例会食事代		258,500	@4,700X55名分
収入合計		1,122,341	

事業名	『金沢南RC姉妹クラブ締結50周年』		
実施日	2025年4月1日(火)～4月2日(水)		
実施場所	京都東山RC 例会場『ウェスティン都ホテル京都』		
訪問予定数	東山RC会員 40名	金沢南RC20名	合計 60名
	他RC会員 名	会員夫人 名	
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金沢南RC様との姉妹クラブ締結50周年の調印式を当クラブにて行い更に、友情と親睦を深めます。</li> <li>・2025年4月1日(火)金沢南RC様との姉妹クラブ締結50周年の調印式を当クラブにて開催するにあたり、金沢南RC様から約10～20名の参加予定になります。</li> <li>・2025年4月2日(水)エクスカージョン(観光組・ゴルフ組)に分かれて実施します。</li> </ul>		

項目	(前年度決算額)	本年度予算額	備考
<支出の部>			
ウェスティン都ホテル京都		909,025	60名分
記念品		180,000	@3,000X60名分
支出合計		1,089,025	







Rotary  
District 2650



国際ロータリー第 2650 地区  
2024-25年度 ガバナー

中本 勝  
Masaru Nakamoto

■ガバナー事務所

〒600-8216 京都市下京区東塩小路町 614 番地 関電不動産京都ビル 5 階 520 号室  
TEL : 075-353-2650 FAX : 075-343-2651 E-mail : gov2024-25@rid2650.gr.jp

GO 発第 169 号  
2025 年 1 月 6 日

京都東山ロータリークラブ  
会長、幹事 各位  
会長エレクト、次年度幹事 各位  
米山奨学ご担当者 各位

国際ロータリー第 2650 地区  
ガバナー 中本 勝  
米山奨学委員長 片山 隆永

## 2025 学年度米山奨学生お世話クラブ引き受けのご依頼

拝啓 新春の候 益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素はロータリー米山奨学事業に格別のご理解ご支援ご協力を賜り誠に有難うございます。

さて、当委員会では、新規の米山奨学生の選考に鋭意取り組み、昨年 12 月上旬に、ガバナー、パストガバナー、ガバナーエレクトのご出席のもと面接選考会を実施、各大学から推薦された留学生の中から 43 名（※米山記念奨学会により割り当てられた人数）を選出いたしました。

これに伴い、10 月に実施した「2025 学年度米山奨学生の世話クラブ引き受けについて」のアンケートに対し、引き受けに前向きなご回答をいただきました貴クラブに、2025 学年度米山奨学生として下記留学生のお世話をお願いいたしたくご依頼申し上げます。

当人は成績が優秀であるだけでなく、米山奨学生としての資質を備えているか、という点を重視して選出された留学生です。貴クラブにてお世話いただくうちに、日本のロータリアンの心や奉仕の精神を理解・会得し、奉仕活動にも参加するなど活躍してくれるものと確信し、お願い申し上げます。

つきましては、米山カウンセラーの決定など貴クラブで必要な手続きを進めていただきたくお願い申し上げます。今後の予定といたしましては、1 月下旬に米山カウンセラー氏名などの情報提供のご依頼を申し上げますので、2 月中旬を期日にご返信いただけるようご準備をお願いいたします。

末筆になりましたが、貴クラブにとりまして、ますます実り大きな年となりますよう心よりお祈り申し上げます。 敬具

記

曹 慧 (ウケイ) さん 女性 中国湖南省  
京都大学 修士 2 年 <奨学期間 2025/04/01~2026/03/31 \*1 年間>

\*本件について、お問い合わせ・ご意見などがございましたら、下記までご連絡をお願いします\*

地区委員長 片山 隆永 (福知山 RC) 080-6133-0945  
地区副委員長 (京都ブロック長) 大江 偉夫 (京都南 RC) 090-8468-0089

以上

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

## 2025学年度ロータリー米山記念奨学金申込書

氏名	Family Name(姓)	First Name(名)	Middle Name		
	英文(English)	英文(English)	英文(English)		
	CAO	HUI			
	漢字	漢字			
曹	慧				
カタカナ	カタカナ	カタカナ			
コウ	ケイ				
性別	女	年齢	28歳	生年月日	1996年10月01日
国・地域	中国			出生地	14.湖南省
在留資格	留学	その他の在留資格			
2025年4月からの 在籍予定校と学年	学校名	京都大学			
	課程	修士	学年	2年	
	学部・研究科	経営管理教育部			
	専攻	経営管理	専門プログラム	専門職大学院	
	入学月	04月	編入学予定	いいえ	
	<small>基幹校 (連合大学院で通学校でなく籍を置く大学)</small>				
奨学金支給予定期間	2025年04月01日 ~ 2026年03月31日			(指定校応募)	
卒業予定年月	2026年03月				

事務局記入用 備考欄

※申込書類は個人情報として取り扱います。書類審査、面接選考と奨学生受け入れ準備のために、ロータリー地区役員およびロータリークラブ関係者に対して、申込書類が提供されますので、ご了承ください。

# 経歴書

申込番号 (学校担当者記入：専用WEB画面参照)  
25RY 051702

氏名漢字 (漢字名がある者のみ、公的に使用している漢字を記入)  
**曹 慧**

英文氏名 英語の敬称 (Mr./Ms.) が付いた時の英文氏名を記入してください。奨学会が発行する、英文証明書の氏名欄を確認するためご記入いただきます。  
Mr. (Ms.) **Hui Cao**

現住所 〒 **606-8301**  
**京都府京都市左京区吉田泉殿町56-5森ノ宮VII 305**

携帯電話 (仮増設可) **070 - 9081 - 5266**

E-mail アドレス **soukei92199 @ gmail.com**

注：高等学校・高等専門学校入学から2024年10月に至るまでの学歴を記入すること。日本語学校在籍、研究生の期間についても記入。高等学校を卒業せず大学検定合格等の場合は、試験名と合格年月日を記入。

期 間	学校名 ※高専や大学 (院) の場合は学部・研究科/学科・専攻/課程などを記入 (例：米山大学 文学研究科 日本文学専攻 博士課程)	キャンパス所在国
2012年9月入学 2015年6月卒業	湖南省耒阳一中	中国
2015年9月入学 2019年6月卒業	浙江农林大学 日本語専攻	中国
2023年1月入学 2024年3月卒業	エリート日本語学校	日本
年 月 入学 年 月 卒業		
年 月 入学 年 月 卒業		
年 月 入学 年 月 卒業		
年 月 入学 年 月 卒業		
年 月 入学 年 月 卒業		
年 月 入学 年 月 卒業		
年 月 入学 年 月 卒業		
2024年4月入学 2024年10月現在	京都大学 経営管理教育部 経営管理専攻	日本

日本在住歴

期間：2018年～2019年 (約 1 年間) 日本語能力試験 Ⅱ 取得

期間：2023年～2024年 (約 1 年間) TOEIC L&R 800点 取得

期間：2024年～現在 (約 年間)

## 学校担当者の方へ

上記「申込番号 (学校担当者記入)」は、専用WEB画面にて申込書内容を登録時に付与される「申込番号」となります。学校担当者が転記してください。当用紙と以下提出書類 (経歴書 2/3, 3/3、指導教員からの推薦状、研究計画書、小論文他) はアップロード用にPDF化する前に必ずご記入ください。

※申込書類は個人情報として取り扱います。書類審査、面接選考と奨学生受け入れ準備のために、ロータリー地区役員およびロータリークラブ関係者に対して、申込書類が提供されますので、ご了承ください。

氏名 (日本語表記、漢字圏の方は漢字、それ以外はカタカナ) <b>曹 慧</b>	申込番号 (学校担当者記入) <b>25RY 051702</b>
---------------------------------------------	--------------------------------------

2025年 4月の 在籍校と 学年	2025年4月に通学する学校名 <b>京都大学</b>	通学キャンパス所在地 (都道府県・市区町) <b>京都</b> 都道 ① 府 県
	2025年4月の課程・学年	<b>京都</b> ① 区 郡
	・学部 ( ) 年 ・6年制学部: 医・歯・獣・薬学部 ( ) 年 ・修士 ( <b>2</b> ) 年 ・博士 ( ) 年 ・4年制博士: 医・歯・獣・薬学部 ( ) 年 ・短大・高専・専修学校 ( ) 年 ・高専専攻科 ( ) 年 ・専修学校高度専門士課程 ( ) 年 ・その他 ( ) ( ) ( ) 年	<b>2024年 4月 入学</b> 年 月 ( ) 年次に編入学
		<b>2026年 3月 卒業予定</b>

2025年4月在籍課程で、休学した場合は以下をご記入ください。

休学期間 年 月 ~ 年 月	休学理由:
復学年月 年 月	
復学した課程・学年 (課程に○を記入し、括弧内に学年をご記入ください) 学部・修士・博士・その他 ( ) 年生	

2025年4月在籍課程で、留年した(する)場合は以下にご記入ください。

留年した(する)年月 年 月	留年理由:
留年により重複した(する)課程 学年 (課程に○を記入し、括弧内に学年をご記入ください) 学部・修士・博士・その他 ( ) 年生	

職歴 (正社員とし兵役を含む)	勤務先	所在地 (国・都市名)	職務内容	勤務期間
	電通日海广告有限公司	中国広州市	通訳・翻訳	2022年3月~ 2022年12月
	東風日产乘用车有限公司	中国広州市	通訳・翻訳	2020年10月~ 2022年2月
				年 月~ 年 月
				年 月~ 年 月
				年 月~ 年 月

予定している奨学期間中に、60日以上日本を離れる予定はありますか? <small>出国: 4月から3月までの1年間で、原則60日までとし、抽選職員が認められた場合は90日まで、休学・留学: 奨学期間中185日まで、詳しくは「規約書」参照。</small>	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> 検討中 (決定時期: 年 月 日頃) <input checked="" type="checkbox"/> いいえ
	「はい」または「検討中」の場合は以下をご記入ください。 ・期間: 年 月 日 ~ 年 月 日 ・理由:

氏名 (日本語表記、漢字圈の方は漢字、それ以外はカタカナ) <b>曹慧</b>	申込番号 (学校担当者記入) <b>25RY 051702</b>
--------------------------------------------	--------------------------------------

(注) 2024年10月の状況を記入

右記情報は、合格後、世話クラブへの参考資料とさせていただきます。選考には関係ありません。	収入	2024年10月現在 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 受給中の奨学金 名称 /月額 円/期間 年 月まで ※他奨学金受給中も当会奨学金に申込みことができます。ただし、当会の奨学金に合格後、二重受給になる場合はどちらの奨学金を受給するかを選択していただきます。 ※年額で受ける場合は、訂正して年額とわかるよう記入してください。				
		仕送り <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (仕送り人続柄: <b>父</b> ) 月額 <b>100000</b> 円 ※変動がある場合は平均額を記入してください。				
		アルバなどの給与 複数の場合は複数の内容を記入し月額は合計額 (内容: ) 月額 円				
		その他 (内容: ) 月額 円				
	日本に在留する親・配偶者の収入	奨学金 (名称: ) (期間: 年 月 ~ 年 月) 月額 円 その他収入 (内容: ) 月額 円				
家賃 (アパート・寮・その他)	月額 <b>51430</b> 円	授業料 (入学金、施設費等は含まない)	2024年10月現在 年額 <b>535800</b> 円 上記の内自己負担額 <b>267900</b> 円 全額免除されている場合は、自己負担額を0と記入し、減免されている場合は自己負担のみの額。現在、減免申請をしていて結果がまだわからない場合は減免無しでの額を記入。親が負担している場合も自己負担とする。			
①~⑤は必ず記入すること。該当しない場合は「なし」と記入すること。「氏名」は日本語表記が難しい場合はアルファベット。						
氏名	続柄	年齢	国籍	現住所 (国・都市名のみ)	勤務先・在学学校名	備考
なし	① 配偶者					
なし	② 子供					
曹文成	③ 父	54	中国	中国広州市	偉信内装工専会社	
張瓊蓉	④ 母	51	中国	中国広州市	惠百家生活スパー	
曹俊	⑤ 兄弟姉妹	22	中国	中国珠海市	珠海格力製造有限公司	

(注) 家族の中に以下に該当する者がいる場合、備考欄に必ず記入すること。  
 ・過去に米山奨学生であった者(奨学金種類・奨学期間) ・現在、米山奨学生である者(奨学金種類・奨学期間)  
 ・米山奨学金申込み予定者(米山奨学金申込み・在籍大学) ・親、配偶者が日本に在留する場合(在留資格)  
 ・国費奨学金あるいは他の奨学金受給者(奨学金名・月額奨学金・奨学期間)  
 ・死亡した者については、氏名・国籍を記入し、備考欄に死亡と記入

※申込書類は個人情報として取り扱います。書類審査、面接選考と異学生受け入れ準備のために、ロータリー地区役員およびロータリークラブ関係者に対して、申込書類が提供されますので、ご了承ください。

氏名 (学校担当者記入/日本語表記、漢字圏の方は漢字、それ以外はカタカナ)

曹 慧


申込番号 (学校担当者記入)

25RY 051702

## 指導教員からの推薦状

### 指導教員へのお願い:

書面による推薦状を、被推薦者を介して学校担当者に渡す場合は、厳封してください。推薦状のデータをメールで送る場合は、パスワードを付け、被推薦者を介さずに、指導教員から直接、学校担当者へお送りください。

被推薦者氏名	曹 慧	国籍・地域	中華人民共和国
2025年4月在籍予定の学校名	京都大学院経営管理教育部 (専門職学位課程)		
指導教員署名(自筆)		役職名	教授
指導教員所属学校名・学部研究科	京都大学院経営管理研究部	作成日	令和 6 年 9 月
推薦の理由を以下にできるだけ詳細にご記入ください。困窮度は選考の対象となりませんので経済面以外の内容としてください。			
学習面:			
本学在学中の期間は、製造業を念頭に、「中国への技術移転を目的とする駐在員が、現地従業員のモチベーションにどのように影響するか」について関心を持って、関連授業を履修するなどしており、とりわけ来年度は、そのテーマに即した研究プロジェクトレポート執筆に向けた研究を開始する予定です。より具体的には、従来からの研究が知識移転の結果に着目しているのに対し、曹氏の研究は、その過程に注目し、駐在員と現地従業員の相互作用がどのように進むのかを解明する点にあります。それによって、現地従業員のモチベーション向上に加え、駐在員の選抜・育成に対する提言を企図するものです。			
人物:			
曹氏の自己申告に基づきますと、2015年9月から2019年6月まで中国の浙江農林大学に在籍、同大外国語学部日本語学科を卒業しました。在学時には、課外活動で日中友好のサークルに所属し、日本からの沙漠緑化青年隊 ( <a href="https://www.rinri-jpn.or.jp/youth/desert/">https://www.rinri-jpn.or.jp/youth/desert/</a> ) と共に、クブチ沙漠での植林活動に従事するなどの積極的な面が見受けられます。既に大学3年次(2018年)には、日本語能力試験N1に合格していますが(これは、写真を確認させていただきました)、特筆すべきことは、曹氏は、日本人が使うような典型的な口語的言い回し(例えば、「そうですね〜」など)が自然に使いこなせることです。			
その他:			
曹氏は、2018年10月から2019年8月までの間、城西国際大学(千葉県東金市)に留学しており、一時帰国後、2020年4月に日本語学校入学のために再来日を予定していたそうです。しかし、新型コロナウイルス感染拡大のため、一度断念し、2年ほど、最初は日産自動車の、次いで電通の駐在員をサポートするための仕事に従事していたとのこと。このような経歴に加えて、上述のように、日本度能力には全く問題ないことから、今後、日本や中国でのご活躍を予期させるものと判断しています。以上の点から、曹慧氏が本学在学中に学業に専念していただくために、御会奨学生対象者として推薦致します。			

※学部生は、「指導教員もしくはこれに準ずる教員」とします。

※2025年4月に、進学・編入学する学生は進学・編入学先の教員ではなく、現在の指導教員による推薦状を提出していただきます。

※日本語でご記入ください。記入言語が日本語でない場合は日本語訳を添付してください。

氏名 (日本語表記、漢字圏の方は漢字、それ以外はカタカナ) <b>曹慧</b>	申込番号 (学校担当者記入) <b>25RY 051702</b>
--------------------------------------------	--------------------------------------

## 研究計画書

下記のテーマについて、必ず本人が日本語、800字以内、横書きで記入してください。  
 黒インク又は黒のボールペンを使用すること。誰にでもわかりやすくご説明ください。  
 学部生・地区奨励：「現在の学習・履修状況または計画」  
 大学院生：「大学院での研究予定または現在までの研究状況」

<p>本研究計画は、現代のグローバル化社会における多国籍企業の海外展開において、知識移転と人材育成の重要性に焦点を当てたものである。特に、知識移転を担う駐在員が現地従業員に与える影響、特にモチベーションへの影響を解明することを目的としている。国際人事管理の分野では駐在員の役割に関する研究が進展しているが、駐在員の特性や行動が現地従業員のモチベーションにどのような影響を与えるかについては、十分に研究されていないのが現状である。</p> <p>主に先進国から発展途上国への知識移転に焦点を当て、特に多国籍企業による知識移転のプロセスを詳細に分析する。従来の研究が知識移転の結果に着目しているのに対し、本研究はその過程に注目し、駐在員と現地従業員の相互作用がどのように進むのかを解明する。知識移転は「学習、定着、改良、イノベ</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

18×20

氏名 (日本語表記、漢字圏の方は漢字、それ以外はカタカナ) <b>曹 慧</b>	申込番号 (学校担当者記入) <b>25RY 051702</b>
---------------------------------------------	--------------------------------------

## 研究計画書

「シジョン」の段階を経るが、その過程で駐在員の役割は変化していく。理想的には、駐在員から現地従業員への主導権の移行が望ましいが、近年の調査によると、多くの企業で駐在員の数が増加傾向にあり、その影響を分析する必要がある。

特に以下の3つの視点から分析を行う。第一に、駐在員と現地従業員の信頼関係が生産性や離職率に与える影響を明らかにする。第二に、駐在員の存在が現地従業員のキャリア発展にどう影響するかを調査する。第三に、駐在員の国際経験や異文化コミュニケーション能力が、現地従業員との関係や知識移転の効果にどう関わるかを検証する。

最終的に、本研究は、質問紙調査とインタビュー調査を組み合わせた研究方法を用いて、駐在員の効果的な選抜・育成方法や、現地従業員のモチベーション向上のための具体的な方策を提案する。この提案を通じて、企業の海外展開をより効果的にし、知識移転の成功に貢献することを目指す。



氏名 (日本語表記、漢字圏の方は漢字、それ以外はカタカナ)

曹慧

申込番号 (学校担当者記入)

25RY 051702

## 小論文

下記のテーマについて、必ず本人が、日本語、800字以内、横書きで記入してください。  
黒インク又は黒のボールペンを使用すること。

テーマ：「なぜ、留学先に日本を選んだのか。日本留学を終えた後の将来計画」

私	が	日	本	を	留	学	先	に	選	ん	だ	理	由	は	、	日	本	語		
専	攻	だ	、	た	か	ら	だ	け	で	は	な	く	、	日	本	へ	の	深	い	
興	味	と	国	際	交	流	を	通	じ	た	社	会	貢	献	へ	の	強	い	願	
望	が	あ	っ	た	か	ら	だ	。大	学	で	の	日	本	語	学	習	は	、		
私	の	日	本	へ	の	関	心	の	扉	を	開	い	た	。日	本	人	教	師		
や	留	学	生	と	の	交	流	を	通	じ	て	、日	本	文	化	へ	の	理		
解	を	深	め	、	そ	の	魅	力	に	引	か	れ	て	い	っ	た	。特	に	、	
大	学	2	年	次	に	参	加	し	た	「日	中	青	年	砂	漠	緑	化	サ		
ミ	ツ	ト	」	は	、	私	の	人	生	の	転	換	点	と	な	っ	た	。中		
国	内	モ	ン	ゴ	ル	自	治	区	の	ク	ブ	チ	砂	漠	で	日	本	の	若	
者	た	ち	と	と	も	に	植	林	活	動	に	取	り	組	ん	だ	経	験	は	、
日	本	人	の	熱	情	と	親	切	さ	を	直	接	感	じ	る	機	会	と	な	
り	、	留	学	を	決	意	す	る	大	き	な	要	因	と	な	っ	た	。4		
年	次	の	交	換	留	学	で	は	、	勉	強	し	な	が	ら	日	本	社	会	
へ	の	理	解	を	深	め	た	。卒	業	後	は	中	国	の	日	系	企	業		
で	働	き	、	在	中	日	本	人	の	中	国	理	解	促	進	に	尽	力	し	
た	が	、	自	身	の	能	力	不	足	を	痛	感	し	、	さ	ら	な	る	成	
長	を	求	め	て	再	び	日	本	留	学	を	決	意	し	た	。				

18×20

氏名 (日本語表記、漢字圏の方は漢字、それ以外はカタカナ)

曹慧

申込番号 (学校担当者記入)

25RY 051702

## 小論文

日本での留学を終えた後は、自分の専門知識を活かし、日本企業で働きながら将来的に海外営業職としてのキャリアを築きたいと考えている。日本語、中国語、英語を駆使し、日本の製品やサービスを世界に広めると同時に、異文化間の相互理解を促進することが目標だ。具体的には、商談を通じて日本文化の魅力を伝え、相手国の文化や慣習を尊重し、真の相互理解を築きたい。また、日本の先進技術や品質管理手法を海外に紹介し、同時に海外の革新的アイデアを日本に持ち帰ることで、双方の発展に貢献したい。これらの目標達成のため、現在は経営管理の知識習得と実践的スキルの向上に励んでいる。また、日本語能力の向上と日本文化への理解を深めるため、さまざまな交流活動やインターンシップにも積極的に参加している。国際理解と協力を促進し、より良い社会の実現に貢献したいという志を胸に、日々の学びと経験を大切にしながら、着実に前進していきたい。

# 学 業 成 績 表

処理日：2024.9.9  
(学生番号：7530361350)

令和 6年 4月 1日 入学

所 属 経営管理教育部 経営管理専攻  
ビジネス・リーダーシッププログラム  
氏 名 CAO HUI

I回生

科 目 名	区 分	評 価	単 位	年 度	科 目 名	区 分	評 価	単 位	年 度																																																																																																																																
*** 基礎科目 ***																																																																																																																																									
ー 基礎科目 (必修) ー																																																																																																																																									
ミクロ経済	宇高 淳郎 (特任)	選必	A	2	6前期																																																																																																																																				
組織行動	山内 裕	選必	C	2	6前期																																																																																																																																				
経営戦略	牧野 成史	選必	B	2	6前期																																																																																																																																				
マーケティング	門傳 藍香	選必	R	2	6前期																																																																																																																																				
会計学	草野 真樹	選必	B	2	6前期																																																																																																																																				
ー 基礎科目 (選択) ー																																																																																																																																									
マクロ経済	遊喜 洋	選必	C	2	6前期																																																																																																																																				
プロジェクトマネジメント	大庭 哲治 他	選必	A	2	6前期																																																																																																																																				
Management Communication	WILLIAM BADER	選必	A	2	6前期																																																																																																																																				
*** 専門科目 ***																																																																																																																																									
ー 専門科目 (主領域) ー																																																																																																																																									
ビジネスエッセンス	幸田 博人 他	選択	A	2	6前期																																																																																																																																				
ー 専門科目 (主領域外) ー																																																																																																																																									
パーパス経営	若林 直樹 他	選択	A	2	6前期																																																																																																																																				
サービスモデル活用論	嶋田 敏	選択	未採点	2	6前期																																																																																																																																				
						単位合計	20																																																																																																																																		
<p>■参考■ 卒業要件充足状況 ※この表は参考です。必ず卒業要件と照合し確認して下さい。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内 訳</th> <th>要卒業単位</th> <th>修得単位</th> <th>不足単位</th> <th>内 訳</th> <th>要卒業単位</th> <th>修得単位</th> <th>不足単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基礎科目 (必修)</td> <td>10</td> <td>10</td> <td></td> <td>合計</td> <td>42</td> <td>20</td> <td>-22*</td> </tr> <tr> <td>基礎科目 (選択)</td> <td>0</td> <td>6</td> <td></td> <td>その他科目</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>基礎科目 (計)</td> <td>16</td> <td>16</td> <td></td> <td>教職科目</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>専門科目 (主領域)</td> <td>8</td> <td>2</td> <td>-6*</td> <td>未判定科目</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>専門科目 (主領域外)</td> <td>0</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>専門科目 (認定)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>専門科目 (計)</td> <td>14</td> <td>4</td> <td>-10*</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実務科目 (主領域)</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>-4*</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実務科目 (主領域外)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実務科目 (計)</td> <td>8</td> <td>0</td> <td>-8*</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>専門・実務 (計・英)</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>-4*</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>発展科目 (主領域I)</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>-2*</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>発展科目 (主領域II)</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>-2*</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>発展科目 (主領域外)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>発展科目 (計)</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>-4*</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										内 訳	要卒業単位	修得単位	不足単位	内 訳	要卒業単位	修得単位	不足単位	基礎科目 (必修)	10	10		合計	42	20	-22*	基礎科目 (選択)	0	6		その他科目	0	0		基礎科目 (計)	16	16		教職科目	0	0		専門科目 (主領域)	8	2	-6*	未判定科目	0	0		専門科目 (主領域外)	0	2						専門科目 (認定)	0	0						専門科目 (計)	14	4	-10*					実務科目 (主領域)	4	0	-4*					実務科目 (主領域外)	0	0						実務科目 (計)	8	0	-8*					専門・実務 (計・英)	4	0	-4*					発展科目 (主領域I)	2	0	-2*					発展科目 (主領域II)	2	0	-2*					発展科目 (主領域外)	0	0						発展科目 (計)	4	0	-4*				
内 訳	要卒業単位	修得単位	不足単位	内 訳	要卒業単位	修得単位	不足単位																																																																																																																																		
基礎科目 (必修)	10	10		合計	42	20	-22*																																																																																																																																		
基礎科目 (選択)	0	6		その他科目	0	0																																																																																																																																			
基礎科目 (計)	16	16		教職科目	0	0																																																																																																																																			
専門科目 (主領域)	8	2	-6*	未判定科目	0	0																																																																																																																																			
専門科目 (主領域外)	0	2																																																																																																																																							
専門科目 (認定)	0	0																																																																																																																																							
専門科目 (計)	14	4	-10*																																																																																																																																						
実務科目 (主領域)	4	0	-4*																																																																																																																																						
実務科目 (主領域外)	0	0																																																																																																																																							
実務科目 (計)	8	0	-8*																																																																																																																																						
専門・実務 (計・英)	4	0	-4*																																																																																																																																						
発展科目 (主領域I)	2	0	-2*																																																																																																																																						
発展科目 (主領域II)	2	0	-2*																																																																																																																																						
発展科目 (主領域外)	0	0																																																																																																																																							
発展科目 (計)	4	0	-4*																																																																																																																																						

評語：A=100-80点、B=79-70点、C=69-60点  
ただし、他学部・他研究科等で履修した科目の評語は、所属学部・研究科の評語と表記が異なる場合があります。

括弧内の数値は卒業要件単位に明示的に加算されない単位です。  
不足単位欄の「\*」は、卒業要件を充足していないことを示します。

2025. 1.

## 2月プログラムのお知らせ

- |           |                                                   |
|-----------|---------------------------------------------------|
| 2月 4日 (火) | クラブデー<br>(例会後：第8回理事役員会)                           |
| 2月11日 (火) | 休 会 (ビジター受付なし)                                    |
| 2月16日 (日) | 京都マラソンボランティア例会<br>(2月18日から移動)                     |
| 2月25日 (火) | インターアクトフォーラム<br>内藤 葉子君・寄本 猛君<br>(例会後：第3回次年度理事役員会) |

いつもお世話になりましてありがとうございます。2月プログラムにつきまして御案内させていただきます。